

令和5年度 ACTyVer.2ラダー別研修 及び 看護職員研修プログラム

*青字…時間外研修 *赤字…提出物 *ピンク色枠…自己研鑽 *緑字…オンデマンド研修 *橙色字…技術トレーニング

レベル/目標	課題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベルⅠ 看護実践に必要な基本的能力を習得する	①支援を受けながら看護実践とその振り返りができる ②ルール・原則・基準・手順に則った行動ができる	医療安全に繋がる看護技術 ・感染管理 ・患者観察に必要な医療機器の基本的な取り扱い ・BLS	真空管採血 静脈注射 レベルⅠ 60分 技術トレーニング 「採血」	看護倫理 90分 ＋ 輸液ポンプ シリンジポンプ 30分	フィジカル アセスメント 90分		体位トレーニング 90分	看護過程の 展開 90分 「酸素療法と人工呼吸器」 *各部署		静脈注射 レベルⅡ 血管確保 60分		技術トレーニング 「静脈注射」	看護実践の ふりかえり 60分
		*2023年度別紙 新採用看護職員年間計画(ACTyレベルⅠ)参照 *急変対応シミュレーション、ACLS/BLS(難病研修室利用) *医師等による時間外学習会(脳神経内科、リハビリ科、リウマチ科、リウマチ科、循環器科などの疾患の特徴と治療) *オンデマンド研修(看護倫理、フィジカルアセスメント、地域医療連携、急変対応など)											
レベルⅡ ①根拠に基づいた看護を実践する ②先輩と共に学習する	①主体性を持って受け持ち患者の看護過程を展開する ②看護実践の意味づけができる		臨床推論と フィジカル アセスメント 60分	看護過程の 展開に取り組む			メンバーシップ 60分			根拠に基づいた 看護のリフレクション レポート提出	各部署内で 発表		
レベルⅢ ①個別性を重視した看護を実践する ②看護実践者として、先輩に支援的役割を果たせる	①個別性をふまえた看護実践をする ②多職種を含めたチーム活動を展開する			ケーススタディの 進め方 60分			リーダーシップ 60分 各部署内で KYT事例に 取り組む(1例)	ケーススタディ 中間報告書提出			ケーススタディ 発表 発表5分		
レベルⅣ ①先輩の学習を支援する ②チームリーダーとしての役割行動がとれる	①リダーシップ行動が取れる ②教育的な関わりを行う			文献活用 について 60分 自部署内での退院前後訪問のいずれか1例 あるいは退院調整看護師のシャワー研修(半日)	ティーチング コーチング 60分					文献検討を 活かした 看護実践 レポート提出	キャリアデザイン について考える 60分 各部署内で 発表		
レベルⅤ 専門性の発揮、管理・教育的に役割モデルとなり、研究的に取り組む	①役割モデルの発揮 ②管理的な視点をもって考え行動する ・人材育成 ・看護実践 ・業務改善	日程		6月7日	7月19日						1月24日		
		①		幹部候補選考 前研修 NHOの e-ラーニング					e-APRIN受講				看護研究 (60分) 全員
		②	QC活動 90分	QC活動あるいは 看護研究への 取り組み	病棟内QC活動 あるいは 看護研究の 計画書提出							QC活動発表 あるいは 看護研究発表 発表5分	
看護補助者	療養介助員			介護倫理 60分				医療安全 感染管理 60分		介護記録 (計画と評価) 60分			
	看護助手		チームの中の 役割と倫理 45分					看護補助業務 の基礎技術、 知識 45分		医療安全 感染管理 45分			
自己申請研修	①難病支援と地域連携 ②摂食・嚥下 ③看護倫理			①難病支援相談 半日シフト研修 ①退院支援看護師 半日シフト研修 ②摂食・嚥下ケア 認定看護師 半日シフト研修									
【対象】 ①②ACTyレベル Ⅲ以上 ③ ACTyレベル Ⅳ以上		内容			③ビデオ視聴 (どちらか一つ以上) ・「彼女は安楽死を 選んだ」 ・「大往生～我が家 で迎える最期～」					③看護倫理事例検討			